

授 業 科 目 名	運動療法学 I	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	1年（後期）
担 当 教 員 名	水谷 貴佐	単 位 数	1単位
		時 間 数	15時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>運動療法は対象となる疾患によりさまざまな方法があるが、基本的な技術のうえにそれぞれ構築されている。運動療法の目的、原則を理解し、まずは基本的な関節可動域制限、筋機能障害、筋力増強に関する知識を学んでいく。</p> <p>〔学習目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 運動療法の歴史、定義、目的について学ぶ。 2. 運動療法の基本的な種類、リスク管理について学ぶ。 3. 関節、筋、神経の構造と機能について学ぶ。 4. 運動と呼吸機能、循環機能について学ぶ。 		
授業回数	授業内容		
第 1 回	運動療法の概要・歴史・定義・目的		
第 2 回	運動療法の種類・リスク管理		
第 3 回	運動療法の基礎		
第 4 回	関節の構造と機能		
第 5 回	筋の構造と機能		
第 6 回	神経の構造と機能		
第 7 回	運動と呼吸機能		
第 8 回	運動と循環機能		
評価方法	期末試験にて評価を行う。（100%）		
教科書 参考図書	〔教科書〕 運動療法学第2版（文光堂）		
履修上の 留 意 点	運動療法の基礎を中心に講義をしていきます。運動療法の理解には、解剖学、生理学、運動学などの基礎科目が重要であるので、それらの学習を並行して進めます。		
メッセージ	運動療法は理学療法 of 重要な治療手段の一つです。解剖学、生理学、運動学などの基礎科目をしっかりと復習しましょう。		